

令和2年度病害虫発生予察情報 特殊報 第2号

令和2年10月5日
広島県西部農業技術指導所

1 病害虫名 タバコノミハムシ

Epitrix hirtipennis (Melsheimer)

2 発生作物名 ナス (品種名: 筑陽)

3 特殊報の内容

広島県における初発生

4 発生経過

(1) 発生確認年月日 令和2年9月8日

(2) 発生地域 福山市

(3) 確認の経緯

令和2年9月上旬、広島県福山市内で、ナスの作付け農園(3a)において、新葉に小さな食害痕(穴)があり、その周辺で小さな虫を確認した。農園主から加害葉と虫体が東部農業技術指導所へ持ち込まれた。(図)

西部指導所植物防疫チームで成虫と食害痕を確認し、神戸植物防疫所に同定依頼をしたところ、9月23日本県未発生のタバコノミハムシ(*Epitrix hirtipennis* (Melsheimer))と判明した。

(4) 他県での発生状況等

国内では、平成23年群馬県で初めて確認された。その後、栃木県、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、大分県、新潟県、奈良県、滋賀県、岡山県、大阪府、京都府、和歌山県及び長野県から特殊報が発表されている。

5 本害虫の特性

本虫は、成虫の体長が1.5~2.5mm、体形は、長楕円形でやや扁平である。体色はやや光沢のある赤褐色で、上翅に不明瞭な暗色の横帯を持つ。触角は黄褐色で末端に向かい黒ずむ。また後退節は肥大する。

他府県の特殊報では、本虫の被害は、葉の表皮を残し、あるいは、葉を貫通して食害するために、直径1~2mm程度の多数の小さな白い点状の食害痕や丸い穴が観察される。

また、生態については、本種はアメリカ合衆国を原産とする外来種で、寄主植物としてタバコ、ナス、トマト、バレイショ、ホオズキ等のナス科作物が報告されている。国内では、タバコの被害は未確認でナス、トマト、バレイショ、ホオズキ等の作物で発生が報告されている。

6 防除対策

(1) 令和2年9月現在、本虫に対する農薬登録はない。

(2) 本種が発生している作物の栽培終了時には、近隣のナス科作物へ本種が移動しないように速やかに処分する。

なお、慣行防除を実施している他地域のほ場では、被害の発生を確認していない。



図 成虫（背面と側面）

○病害虫発生情報に関するお問い合わせ先

西部農業技術指導所（植物防疫チーム）（〒739-0151 東広島市八本松町原 6869 電話 082-420-9662）

農林水産局農業技術課（〒730-8511 広島市中区基町 10-52 電話 082-513-3559）

○病害虫発生予察情報は、広島県ホームページで閲覧できます。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>